

予想される学習活動・子どもの意識の流れ

**パフォーマンス課題：**みんなの生活がもっと楽しく、よりよくなるための『提案文』を書こう！  
みんなの熱い思い（意見）と、それを支えるデータや証拠（事実）を組み合わせ、校長先生や児童会、担当の先生、友達の心を動かし、検討してもらおう！

1 学習計画（見通し）

自分のテーマは決まったけど、意見だけでは相手は納得してくれないから、説得力のある提案文の書き方を考えたいな！！



2 授業の学び

相手の心を動かす提案文のひみつを見つけて、ループリックを作ろう。

意見のみで書かれている提案文を読み、なぜ納得させることができないのかを考える。

自分の感情ばかりでは相手は納得してくれない。事実が書かれていない。

問い「モデル文から相手の心を動かすための5つのひけつを探し出そう。」

誰と 個人 or 友達 or 先生

どこで 自分の席 or 交流スペース

何を使って 端末(ロイロ)or ノート or ホワイトボード

3 振り返り

5つのひけつ

1 データや作品名など【事実】  
2 意見が書かれている【意見】  
3 段落に分かれている【構成】  
4 デメリットとその解決方法【デメリットの克服】  
5 文末の表現方法の工夫【文末表現】

整理した5つの項目をもとにクラス全体のループリック(評価基準)を設定する。

今の自分のアイデアだとこの5つのうち何個達成できそうかな？

意見しか考えてないから、次の時間は事実を考えないと。

大人の心配に対する考えに対するルールを考えないと

次の時間は意見の証拠になるアンケートを取らないと！



|          |                   |     |      |     |      |     |
|----------|-------------------|-----|------|-----|------|-----|
| 教師の指導・支援 | 主体性の目安となる自己調整の度合い |     |      |     |      |     |
|          | 学習課題              |     | 学習過程 |     | 学習形態 |     |
|          | 教師                | 子ども | 教師   | 子ども | 教師   | 子ども |
|          | 1                 | 9   | 5    | 5   | 2    | 8   |

- 2つの提案文を比較させることで、相手（大人）を納得させるには5つのひけつが必要不可欠であることに気づかせ、ループリック設定につなげる【課題】
- 子どもたちから出たキーワードを黒板や端末上で整理し、自分たちの言葉で「伝わる5つのひけつ（①意見、②事実、③構成、④デメリットの克服、⑤文末表現）」として、クラスのループリックを設定する【過程】
- 個人で考える時間や友達と考える時間を設定し、相手の心を動かす5つのひけつを見出せるようにする【形態】